



2021年12月24日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 隆
(コード番号 4886 東証第一部)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 小林 秀昭
(TEL. 03-5484-8366)

GnRH アンタゴニスト「レルミナ®錠（レルゴリクス）」
子宮内膜症に対する効能効果の
製造販売承認事項一部変更承認取得のお知らせ

当社の子会社であるあすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口惣大）は、レルミナ®錠（一般名：レルゴリクス、以下「本剤」）について、本日付で子宮内膜症に対する効能効果の製造販売承認事項一部変更承認を取得しましたことを、お知らせいたします。

本剤は、2019年1月に子宮筋腫に基づく諸症状（過多月経、下腹痛、腰痛、貧血）の改善に対する治療薬として、製造販売承認を取得しています。あすか製薬株式会社は本剤が子宮内膜症治療の新たな選択肢を提供し、患者様の Quality of Life（QOL）向上に貢献するものと期待しています。

【承認内容の概要】 ※下線が今回の承認内容

製品名： レルミナ®錠 40mg

一般名： レルゴリクス

効能又は効果： 子宮筋腫に基づく下記諸症状の改善
過多月経、下腹痛、腰痛、貧血
子宮内膜症に伴う疼痛の改善

用法及び用量： 通常、成人にはレルゴリクスとして 40mg を 1 日 1 回食前に経口投与する。なお、初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。

<レルミナ®錠について>

本剤は、下垂体の GnRH 受容体を阻害することにより、黄体形成ホルモン（LH）、卵胞刺激ホルモン（FSH）の分泌を阻害します。その結果、性ホルモンであるエストロゲン及びプロゲステロンが抑制されるため、子宮内膜症の主要な症状である骨盤痛を改善することが期待されます。また、レルミナ®錠は 1 日 1 回の経口薬であり、子宮内膜症に伴う症状に悩まれる患者さんにとって有用な治療薬になるものと期待されます。

以上